

# あわーず社内報 2024年 Vol.5

## 第24回日本訪問リハビリテーション協会 学術大会in山形2024

テーマ 訪問リハビリテーションの未来  
～地域ニーズをつかむスペシャリストたちからの提言～

令和6年6月1日（土）、2日（日）  
訪問リハビリ協会主催学術大会  
に江東ステーションリハビリ常勤  
メンバー5名で参加しました。

それぞれが描いていた訪問リハビリ  
の形がどのように大事にされてきたか  
学会に参加してどのように感じたか  
をお伝えします。







令和5年8月1日入社  
理学療法士 高崎 晃

### 【学術大会に参加した目的】

訪問業界で勤務してまだ1年経過していない為、他事業所との比較や自分の立ち位置の確認をしたく今回研修会に参加してきました。

### 【学術大会に参加して学んだ事・感じた事】

- ・基本は何かを吸収したい、求めたい人達の集まりだったので、刺激になりました。
- ・各発表を踏まえ、起承転結にまとめる為の参考になりました。
- ・自分の今の立ち位置が明確化しました。

→今の自分達が行っている「未来を見据えた支援体制」が発表されたどのステーションよりも進んでいると感じました。

### 【あわーずでの取り組みとの比較】

今回参加した「一般演題」の中で感じた事は、どういう内容のリハビリをしたか？どうして良くなったか？等結果や手技・方法に対してフォーカスが当たり過ぎている方が多い印象を受けました。

→前述の視点も大切だと思いますが、未来志向になる為に5w1Hを意識しながら、各ご利用者様に対してどういう支援を行うかを模索していく事が1番大切だと自社にて学ばせて頂きました。

### 【あわーずに入社して、以下3点ができるようになりました。】

- ・親身に利用者様のことを考えられるようになってきました。
- ・自社だけでなく外部と連携する機会が増え、自分の中でも必要な支援の提案や調整等ができるようになってきました。
- ・訪問看護リハビリステーションのスタッフとして、多様性が求められる考え方にシフトできるようになってきました。







令和5年9月1日入社  
作業療法士 紫藤 優磨

### 【学術大会に参加した目的】

他の訪問看護リハビリステーションがどのように働いているかわかりませんでした。

- ・他事業者との比較や自分自身が今現在どのくらいのレベルでリハビリ介入や支援を行えているのか
- ・自分自身がどのくらい成長できたかを知るため、把握するために参加させていただきました。



### 【学術大会に参加して学んだ事・感じた事】

学会を通して数多くの症例発表を聞かせて頂きましたが、身体機能面に対しての話が非常に多く、今がこれで改善できたとしても進行性の疾患や高齢の方であれば今にしか生きてこないこと、予後についての環境設定がもっとできることが多いのではないかと感じました。

身体機能面のみの発表だけではなく、今後自分が作業療法士で生き残っていけるためには議題で上がった自助具の提案や環境設定に対しては非常に多く参考になる点があり勉強になりました。

### 【あわーずでの取り組みとの比較】

自社の強みについては他ステーションとは比べられない位患者様の事を考えていると非常に思いました。

特に患者様ごとの話し合いが非常に多く特にリハビリですが誰にでも相談できる環境があるのと同時に自分が認知できていなかった部分に対しても意見を下さる事。

他ステーションからの連絡は少ないですが少しの変化にも気が付き、情報共有を多くできること。よりよいサービスを転換できていることです。





令和5年10月1日入社  
理学療法士 塩沢 真菜美

### 【学術大会に参加した目的】

- ・他の事業所の取り組み、リハビリとしての役割はどう担っているのかを見てみたい。
- ・あわーず以外のステーションがどんなリハビリを展開をしていて、どんな方法で在宅へのアプローチを行なっているのかを学びたい。という気持ちで研修に臨みました。

### 【学術大会に参加して学んだ事・感じた事】

これから、高齢者が増えていく中で、どれだけ地域のマネジメントを出来るかが私達の役割である事

ケアマネも含めて利用者様を取り巻く環境として、同じ目標設定をし、そこに向けて動いていかないといけないというところは、これから求められる訪問の在り方であるという事

### 【あわーずでの取り組みとの比較】

リハビリ職としては、やはり機能を見て、そこに対してのアプローチが多いと感じました。

しかし、あわーずでは、そこは当たり前であり、そこからご利用者様本人だけでなく、ご家族、生活状態、他機関への連携と多岐に渡って援助していると、改めて感じましたし、強みなんだなと思いました。

今回の研修で、どの位置にあわーずがあって、どれだけレベルの高い事を提供出来ているのか、素晴らしい先輩方がいる環境で働く事が出来ているのかを改めて認識出来る研修になりました。

ここで働き、動いていく事は絶対にこれから先に活かすことが出来るとしか思えません。

まだまだ学び足りない事ばかりなので、動きながら、より良いサービスの提供出来るよう精進したいと思います。





令和元年4月1日入社  
理学療法士 曳地 美帆

### 【学術大会に参加した目的】

あわーずが今回の事業所と比較して、どのようなリハビリの取り組みの違いがあるのかを確認するため、研修に参加しました。

### 【学術大会に参加して学んだ事・感じた事】

あわーずの取り組みはどこよりも先を進んでおり、今回参加した内容はほとんどあわーずでは出来ている内容と思い今後も前に突き進めるようにしていきたいと思いました。

症例検討については、知らない症例やターミナル対応について再度考えさせられる部分がありました。

他者の意見も取り入れながらのリハビリが行えることがさらにより良いサービス提供に繋がると思いました。

### 【あわーずでの取り組みとの比較】



あわーずはリハビリ・看護サービスのみならずそこから繋がるサービスについても提案したり考えることが出来ていると思います。

リハビリだけに目を向けずに広い視野で介入できていることはあわーずの強みと思っています。





令和元年4月1日入社  
理学療法士 河村 優仁

### 【学術大会に参加した目的】

全体的なあわ—ずの立ち位置を改めて確認する機会にするため、学会投稿内容やこれから歩むべき訪問の課題について、自社、他社比較を客観的に確認する事を目的としました。



### 【研修に参加して学んだ事・感じた事】

これまで歩んできた訪問の歴史から、今後見据える課題に対して、訪問等地域医療に加え、厚労省やこども家庭庁、行政を交えた地域全体で動いていく方向性を見据えている事を感じられました。

### 【あわ—ずでの取り組みとの比較】

これから在宅医療が進もうとしている方向性や課題感について、既に江東ステーションでは取り組み続けている事を再認識する事が出来ました。

在宅医療のみならず、地域の在り方が問われている昨今の課題に向き合い、これから動いてくる業界の先を走れている事は大きな経験、そして地域の指標となる事が出来ている事は今回得られた大きな収穫であったと感じています。







【総括】  
理学療法士 河村 優仁

発展衰退国と言われている現在の日本社会の課題は、医療分野でも同様に対症療法に留まっている現実をより痛感しました。

根幹的な部分にどれだけ重点を置いて動けるかが、これからの医療に求められてくる部分だと思います。

その中で、評価や問題点の洗い出しに焦点化され、否定的な部分に着眼される事で解決に至れず、地域医療として「並走、挑戦、解決」を展開出来るステーションや病院、クリニックはまだまだ少ない実情となっています。

課題点はそれぞれに感じているものの、そこに費やす労力、地域医療への発展の仕方が困難と感じ、解決に至れず地域に埋もれてしまう状況が多くあります。自らが自分の信念を持って切り拓き、これから変革期を迎えていく社会を支えていける可能性を大きく担っているのも地域医療の醍醐味だと感じています。

これまで江東ステーションが信じて歩んできた道は間違いでなかった事を再認識する事が出来ました。

まだまだ、重症心身障害児や児童発達領域、精神疾患や重度の知的障害を抱える成人以降の核家族への支援、神経難病や進行性難病、若年層の就労支援、後期高齢者を取り巻く支援等、地域医療として展開しなくてはならない課題は沢山ありますが、その中でも訪問の枠に留まらず、地域の核となって、様々な連携箇所と江東ステーションが中心になりながら、より良い人生の選択、社会復帰、社会参加を目指していく支援は数多くこなせてきたと感じています。

これから多くのステーションが抱えてくる課題に対して、一步二歩先を進みながら、業界全体の変革期に飲み込まれず軸を持った支援の提供が継続して行える事、また今ある現実から目を背けずにチームとして最善の選択肢を取り続ける事が全国的に廃業率が上がっていく中でも、ステーションを衰退させず、あわ—ず全体のステーションを守り続ける形に繋がると思っています。

今回、共に参加した江東ステーションの常勤リハビリスタッフは、この想いを短時間で理解、体現、行動し、1日1日を大事に常に新しい自分と出会いながら物凄いスピードで成長してくれています。新しい自分への追求があるからこそ、一利用者様方との向き合い方は尊敬に値しており、一分一秒無駄にしない明日への活力に繋がる支援の選択、リハビリを展開する事が出来ています。学会を通して各スタッフの成熟度を実感する事が出来ました。

こうして出会えた常勤、非常勤スタッフ達と今後も長い人生の中で1人でも多くのスタッフと多種多様な形で交わり続ける事が出来ると良いなと思っています。

これからも1日1日を大事に日々精進して行きたいと思っています。

